



# ボンド事業 KONISHI Innovation

## ニーズをカタチにし 社会につなぐ 「技術開発力」

ニーズという言葉、人の心を通して言い換えると“想い”。子供も大人も、女性も男性も、昔も今も明日も。誰もがいつも抱きつづける想いをカタチにすることが、コニシに与えられた仕事であり、かけがえのない喜びです。

想いは心からとめどなくあふれ、暮らしや住まい、ものづくりや社会づくりへと広がってきました。つぎにはどんな新しいニーズが生まれるのでしょうか。どんな楽しいニーズと出会えるのでしょうか。「素材と素材を結合させる」接着剤の役割には、人の心と社会、人の心と未来をつなぐ役割があることをコニシは知っています。それが他ではまねのできない独自の技術開発力につながり、製品に結実しています。

コニシのボンドは様々な「つなぐ」シーンで活躍しています

1 **1** コンシューマー分野  
→ P5



家庭で

暮らしの中の様々なモノを「つなぐ」

一般家庭用接着剤  
補修材・テープ

2 **2** 住関連分野  
→ P7



内装工事で

内外装のあらゆる「つなぐ」を実現する

内装施工用接着剤  
一般住宅用シーリング材  
建築用テープ

3 **3** 産業資材分野  
→ P9



工場で

生産ライン内の「つなぐ」に応える

工業用接着剤・工業用テープ  
工業用離型剤

4 **4** 土木建築分野  
→ P11



建物で

様々な隙間を「つなぐ」 最先端の工法で新たな製品を揃える 「つなぐ」を生み出す

ビル建設用シーリング材・建設土木用接着剤・各種工法

社会  
インフラで

### クリーン資材



オフィスビル・  
店舗・学校で

キレイな環境づくりで快適な空間へと「つなぐ」

ワックス・はく離剤・清掃用機器

# 1

## 使用者の「自分でつくる想い」をつなぐ コンシューマー分野



### KONISHI Innovation 1

#### 使用者の声に応えた「ボンド ウルトラ多用途®S・U」

「一本でいろいろなものを接着したい」「どの接着剤を選んでいいのかわからない」。営業担当者から研究担当者のもとに届いた声は、日常生活の中で接着剤を使う人の想いを代表していました。その想いに応えるため、シリコンとウレタンのハイブリッド素材であるシリル化ウレタンを原料とする多用途接着剤を開発。屋内外を問わず金属、ガラスからゴムや塩化ビニールまで幅広い素材同士を接着することはもちろん、ホルムアルデヒドなどの有害物質をまったく含まない無溶剤タイプで高い安全性を備えています。さらには接着面が固まる速さを従来の製品より短縮させ、固まっても目立たないよう色を透明にするなど、様々なニーズをぎゅっと結晶させたコニシの独自製品が「ボンド ウルトラ多用途®S・U」です。そして着実に販売を増やし、今ではコンシューマー分野の主力製品に育ちました。

最近では「接着しづらいものがまだある」「もっと強く接着させたい」という声が私たちのもとに寄せられています。近い将来、皆さんを驚かす新製品が生まれることをお約束します。



研究担当者と営業担当者が共同で製品開発を行う



ボンド ウルトラ多用途®S・Uシリーズ

### 今までも、そしてこれからも

「道具箱からボンドとって」「アッもうカラだよ」。今日もきっとどこかで交わされている会話です。黄色いボトルに赤いキャップが個性的な「ボンド 木工用」や瞬間接着剤として有名な「ボンド アロンアルファ」は、コンシューマー分野の代表的な製品です。

コンシューマー分野の製品たちの活躍の場は、皆さんのごく普通の毎日、日常生活の中。それゆえ使用者視点を何より優先させ、使う人にとってどのような利点があるのかを明確にしています。製品開発の段階においても「使いやすい」「安全・安心」「どこでも購入できる」など、基本的なニーズにしっかりお応えすることで、ロングランの愛着と信頼を重ねていただけるまでになりました。

今、コンシューマーである皆さんのものづくりに対する想いは日常を飛び出し、手芸やフィッシング、DIYなどホビーの領域にまで拡がりを見せています。コニシはそんな想いにもっとお応えできる製品開発に取り組んでいます。



水まわりの補修に



壊れたモノの接着に



携帯電話のデコレーションに

### 製品群紹介



# 2

## 生活者の「快適な暮らしへの想い」をつなぐ 住関連分野



## KONISHI Innovation 2

### ゴミを少なく、使い勝手のよさを追求した 「ボンド KU928C-X 2wayパック®」

これなら安心、これなら簡単。住宅やマンション建築に使用する床用接着剤に新容器を採用。紙管のカートリッジではなく、柔らかいフィルム包装紙を使用しています。使用後は小さく圧縮され、ゴミを紙管カートリッジの約10分の1に減量することに成功しました。また省ゴミ化に加えて、作業性の向上も実現。簡易カートリッジに装着した使用法と、そのまま手で絞って使う2通りの使い方が自由に選択できます。

使用後のゴミを大幅に減らせるだけでなく、作業する人の好みや施工部位の特性にも考慮したこの製品。製造にあたっては、コニシでは初めて容器の包装材から製品の製造、充填までを一貫して行う設備を導入しました。これにより容器購入に関わる廃棄物の削減、生産工程の効率化によるエネルギーの削減も実現しています。



研究・営業・生産担当者による開発チーム    手しぼり使用    カートリッジガン使用

## よりよい住まいづくりに貢献

完成すれば見えなくなってしまうことがほとんどですが、住宅の床用接着剤、壁や天井などの内装やキッチンパネル用の接着剤、外壁のタイル用接着剤やシーリング材など住む人の細やかなご要望を実現させるため、家づくりに関わる様々なところでコニシの製品が活躍しています。

また空気中に放散される化学物質により起こるといわれる「シックハウス症候群」。社会的な取り組みが進んできたこの課題に対し、安全性・作業性・環境保全の3点から製品を見つめ、様々な技術革新により室内空気を汚さない製品を開発。住む人はもちろん、使う人の安全をも考えた製品づくりに努めています。その安心の証しは「F☆☆☆☆」の表示と「JAIA 4VOC基準適合」表示、また健康住宅対応の「GREEN SPIRIT」のマークに表れています。

住まいに対する価値観が変化し、長く暮らせる100年住宅・200年住宅への取り組みが始まった今、リフォームの際簡単にはがせ、下地を傷めない「リフォーム性」という機能をもった製品開発も行うなど、次代を見据えた社会のニーズにも積極的に応えていきます。



フローリングの施工



外壁タイルの施工



床下地の施工

## 製品群紹介



# 3

## メーカーの「良品を届ける想い」をつなぐ 産業資材分野



## KONISHI Innovation 3

### コニシの技術が発揮できる新しい分野へ

産業資材分野のあらゆるシーンで活躍するコニシの製品。お客様の業種やニーズは多岐にわたり、要求される性能も様々です。その中でも特に、高い性能が求められるのは「自動車分野」と「電子・電機分野」。

自動車分野では、様々な環境下でも走行できる耐熱性や耐久性はもちろんのこと、ハイブリッド車・電気自動車への移行が急速に進む中で燃費改善に向けた軽量化をめざすなど、素材の転換が日々図られています。そうした動きを的確に捉えることが、重要な課題の一つとなっています。

自動車分野と同様に高度な技術が活用される電子・電機分野。近年は、LED照明関連の需要が高まりを見せており、過酷な環境に耐えられる性能に加え、難燃性や放熱性などが欠かせない要素です。

コニシは、各国の環境法規制への対応とともに、安全性と作業性を高いレベルで融合するために、これまでの性能にさらに磨きをかけています。そして、これからの自動車分野と電子・電機分野が必要とする製品の開発に、独自の技術力をもって取り組んでいます。



自動車分野へ



電子・電機分野へ

### 製造現場それぞれに最適化

段ボールに紙袋、家電や携帯電話など…実は多くの方が何気なく日々接する様々なものを製造する産業資材分野でコニシの製品が活躍しています。産業資材分野の接着剤が使われるのは、主に工場の製造ライン。紙管、製本、製袋や段ボールなどの製造ラインで、またトラック保冷パネルや自動車内装部品などの製造ラインでもコニシの接着剤が使われています。製品の開発に際しては営業担当者が市場のニーズをまずキャッチし、お客様と一緒に改良・修正を重ね完成品を仕上げていきます。それぞれが現場の都合に応じ、最適となるベストワンの製品づくりでご要望にお応えしています。

産業資材分野では接着剤に止まらず、自動車の座席シートやソファのクッションなどのウレタン発泡材を型から抜く際に使用する「離型剤」や家電製品のパネル部分や液晶部分の固定等に使われるテープなど、コニシの製品が採用されています。これからは需要の高まっている電子・電機分野での接着剤や封止材といった製品提供に力を注いでいきます。



紙管製造ライン



鋼製ドアの製造

液晶パネルの固定

### 製品群紹介



# 4

## 社会の「安全・安心への想い」をつなぐ 土木建築分野



## KONISHI Innovation 4

### メーカーとして新しい土木ニーズに挑戦

循環型社会の形成に向けて「社会資本ストックをいかに延命させるか」ということが重要視される今、コニシは時代の要望にお応えできる様々な製品・工法を生み出しています。従来は、建物の外壁やタイルの補修、建物自体の耐震補強、建物内への雨の侵入を防ぐシーリング材の施工といった建築分野が中心でしたが、培ってきた技術を進化させ、橋梁のコンクリートはく落防止工事、炭素繊維・アラミド繊維を使った橋梁の耐震補強工事、上下水道のコンクリート防食工事など、様々な土木の現場でコニシの製品・工法が活用されています。メーカーならではの多面的なアプローチで、安全・安心な社会づくりを支えています。

コニシは引き続き、営業・研究担当者が協力して社会が求めているニーズを汲み取り、クオリティの高い製品・工法を開発していきます。そして、築き上げた信頼・実績のもと、独自の強みである製品力・技術力・ネットワーク力を最大限に駆使し、土木構造物の「ストックの延命」に挑戦していきます。



コンクリート天井の補修  
コンクリート片のはく落を防止する「ボンドKEEPメンテ工法@VM-3」施工風景

### 公共の建造物や社会インフラを支えます

現在は過去に建てられた建築物ストック、橋や道路、上下水道といった社会資本ストックをうまく補修・改修して、より長く利用できるように維持管理していく「ストックの延命」の時代になっています。また学校や病院といった公共施設は、災害時の避難場所にもなり、耐震化が求められています。コニシでは建築物の補修・改修や補強に適した接着剤・シーリング材の開発・提供に止まらず、外壁補修、耐震補強、表面保護などにおいて独自の工法を開発。産官学との協働も視野に入れながら工法とともに高度な技術の提供、普及活動を広く行っています。

また全国約840社の施工業者からなる「コニシシステム工業会連合会」をサポート。コニシの接着剤や新工法に関する講習会などを定期的に行い、高い水準での施工が平準化・スタンダード化するよう現場と協調した支援を行っています。さらには工業会員との連携の中で新製品・新工法の開発をめざすなど、安心して暮らせる社会づくりに多角的に取り組んでいます。



シーリング工事



ひび割れ補修工事

はく落防止工事

### 製品群紹介

